

ファーエンドテクノロジー株式会社避難訓練実施要領201609					
	訓練種目名	訓練概要	細目	実行者	備考
事前措置	現場確認	訓練実施者による備品及び現状、経路確認の実施。	訓練実施日の10日前までに実施し、経路の確立を行います。	訓練実	訓練実施者=田中
	周知	訓練予定日時及び班編成の社員への周知。	訓練実施日より5日前までに実施します。	訓練実	
		訓練要綱及び実施要領の社員に周知。	訓練実施日より5日前までに実施します。	訓練実	
初期措置	状況開始	訓練の開始宣言の実施。	定刻になったら、訓練実施者が「地震発生、第〇班訓練開始」を宣言します。	訓練実	以下班別で実施
		訓練備品の配布。	訓練実施チェックシートと避難経路1,2の地図を班長に配布します。	訓練実	
	情報収集	班長による班員の点呼を実施。	点呼方法は「〇〇さん、異常ありませんか？」と口頭での問い掛けを実施してください。	班長	
		班長は班員の人数と氏名の把握。	メモ書きを作成して下さい。	班長	
		会社設備の被害状況の確認。	省略しますが、班長は班員に異常の有無を手分けして確認させてください。	全社員	
		不在者の安否確認方法の確認。	省略しますが、電話以外の通信手段を全社員で共有してください。	全社員	手分けして実施
	避難準備	市内外の被災状況の入手方法の確認。	省略しますが、松江市防災メールの登録を推奨します。	全社員	避難勧告出たと想定
会社の重点持出品の携行。		社内の規定に従って、持出品を携行してください。	役員		
個人所有の貴重品の携行。			全社員		
	会社配布の水と携行食の配布。	水2本、携行食3箱	全社員		
対策措置	避難所への移動	徒歩で松江市指定避難所(松江市立中央小学校)へ移動。	エレベーターは使用不可です。	全社員	敷地内には入らない
		移動経路上の危険箇所を確認。	視界の遮断箇所、看板等頭上危険地点の確認をしてください。	全社員	
	避難所での点呼	避難所に到着したら点呼を実施。	班長はメモ書きを参照して点呼を実施してください。	班長	
	避難所での情報収集	避難所で行える情報収集手段の確認。	各自携行している端末等の受信状況を確認してください。	全社員	
		家族の安否確認手段の確認。	省略しますが、緊急時の連絡手段は各家庭で確認することを推奨します。	全社員	
帰社	来た時と異なる経路を移動。	松江駅構内を通過するコースを通ります。	全社員	危険箇所に認識	
	移動経路上の危険箇所を確認。	視界の遮断箇所、看板等頭上危険地点の確認をしてください。	全社員	エレベーター使用可	
終了	状況終了	帰社後点呼を実施。	班長はメモ書きを参照して点呼を実施してください。	全社員	
		班長による講評を実施。	一言(約1分程度)で、気がついたことと労いの言葉をお願いします。	全社員	
		訓練実施者による訓練終了の宣言。	講評が終わり次第、訓練実施者が宣言して通常業務に復帰します。	訓練実	

実施日	第1班 = 2016/9/7(水) 10:00、第2班 = 同日 14:00 【予備日】2016/9/13(火)第1班 = 10:00、第2班 = 14:00
想定	2000年10月6日(金)13:30に発生した「鳥取県西部地震」クラスの地震が発生したと想定。 安来市東部の島根鳥取県境を震源とするM7クラスの直下型地震。 松江市内の震度は5強。 地震の影響で、松江市内では停電が発生。 入居する松江センタービルでは強い揺れによりエレベーターが緊急停止している。 松江市内では倒壊家屋及び火災発生はない。 通信手段として電話は地震発生後繋がりにくい状況である。 インターネットは正常に使用出来る。
評価方法	①各班ごと、訓練終了後に班長による「講評」を行う。 ②訓練参加者が避難経路及び避難場所を確認した時点で講評基準に達したと判断する。